

最近、NHKで昔の「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」を4Kリストア版で再放送しています。(^^)

会社員時代の先輩に勧められて当時よく見ていた番組なので、つい見てしまいます。

先日見たのは「命の離島へ 母たちの果てなき戦い」という、戦後の医師不足の中、感染症が蔓延した沖縄の離島に公衆衛生看護婦として派遣された女性たちのドラマでした。困難に立ち向かう人々の姿は心を打ちます。

稲盛和夫さんは、「世のため人のためになるという目的があると、歳がいても情熱を燃やすことができる」

(「稲盛和夫『仕事は楽しく』」鍋田吉郎著小学館)とお話されていますが、

「プロジェクトX」は、そんな目的をもった人が情熱を燃やす挑戦の物語だと思います。



中島みゆきさんのテーマ歌も懐かしいです

思えば、20代前半の若手社員だった頃、僕は結構なお気楽社員(^^;)でした。それでも、数年経った時、一応人並みに最初の昇進をさせてもらいました。その時の直属の上司が話していた言葉を今でも覚えています。

「柿野は昇進させないと成長せんからなあ」(@_@;)ワチャー!

聞いたときは少し複雑でしたが、部下を持つという責任感で、僕の仕事への向き合い方が変わるという親心だったのでしょ。確かに、人に教える為には自分自身が情報を整理できていなくてはけませんし、想定外の質問に「そんな考え方もあるのか」と気づきをもらうこともあります。

育ててほしいと相手のことを真剣に考えることが、実は自分自身の成長につながっていく。

それは、後に僕が人の親になってから、改めて思い知ったことでもあります。それから、子育てをして気付いた自分の親の思い。自然と自分も大事に育てられことに思いを馳せました。

もしかすると人を大事に考えるということは、大事にされている自分を知ることなのかもしれませんね。



今月、とんでもなく衝撃的なニュースが飛び込んできました。安倍元総理が銃撃された事件です。

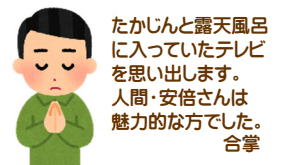
最初は、アメリカかどこか外国で狙撃されたのかと思いましたが、なんと日本でのこと。

いろんな報道がありますが、自分勝手な、ただただ私欲私心の歪行です。

こんなことがあっていいものかと残念でなりません。

ただ、せめてもの救いが、白昼人混みでの犯行で巻き添えになる市民が出てもおかしくない状況の中、他に被害者が出なかったことです。

長く国民のためにと奮闘された方ですので、そのことだけは天国で安堵されているのではないのでしょうか。



たかじんと露天風呂に入っていたテレビを思い出します。人間・安倍さんは魅力的な方でした。合掌

亡くなった瀬戸内寂聴さんは、「お子さんに『何のために生きるの?』と聞かれたら、

『誰かを幸せにするために生きるのよ』と答えてあげてください」とおっしゃっていました。

それは、あなた自身が前向きに生きるのだという寂聴さん流のメッセージでしょう。

冒頭の稲盛さんの言葉と繋がっているような気がします。

その稲盛さんは、政府からの要請で、経営破綻をした瀕死状態のJALの会長を無報酬で引き受けた際、

「全社員の物心両面の幸福を追求する。その一点に絞って経営をやっていきます」と宣言しました。

そのためにJALフィロソフィといわれる社員の意識改革を厳しく進めたといえます。

いち早い情報の共有や徹底したコストの意識、サービスの意識、創造と提案そして行動の推進。

「会社は社員のために、社員は会社のために」。

会社は社員を、社員は会社を思いやることなしに、絶望からの復活はなかったのです。

なんでも環境のせいや誰かのせいにするのは簡単なこと。

でも、少なくとも同じ会社で同じ目的を共有する者同士なら、お互いの「幸せ」や「将来像」について考えて、それも共有してチームとして前に進みたいものです。

「誰かのせい」ではなく、「誰かのために」。そう思える社会や組織であってほしいと願っています。



僕のプロジェクトXは、終わりなき戦いです...

始まってもないけどネ By 嫁